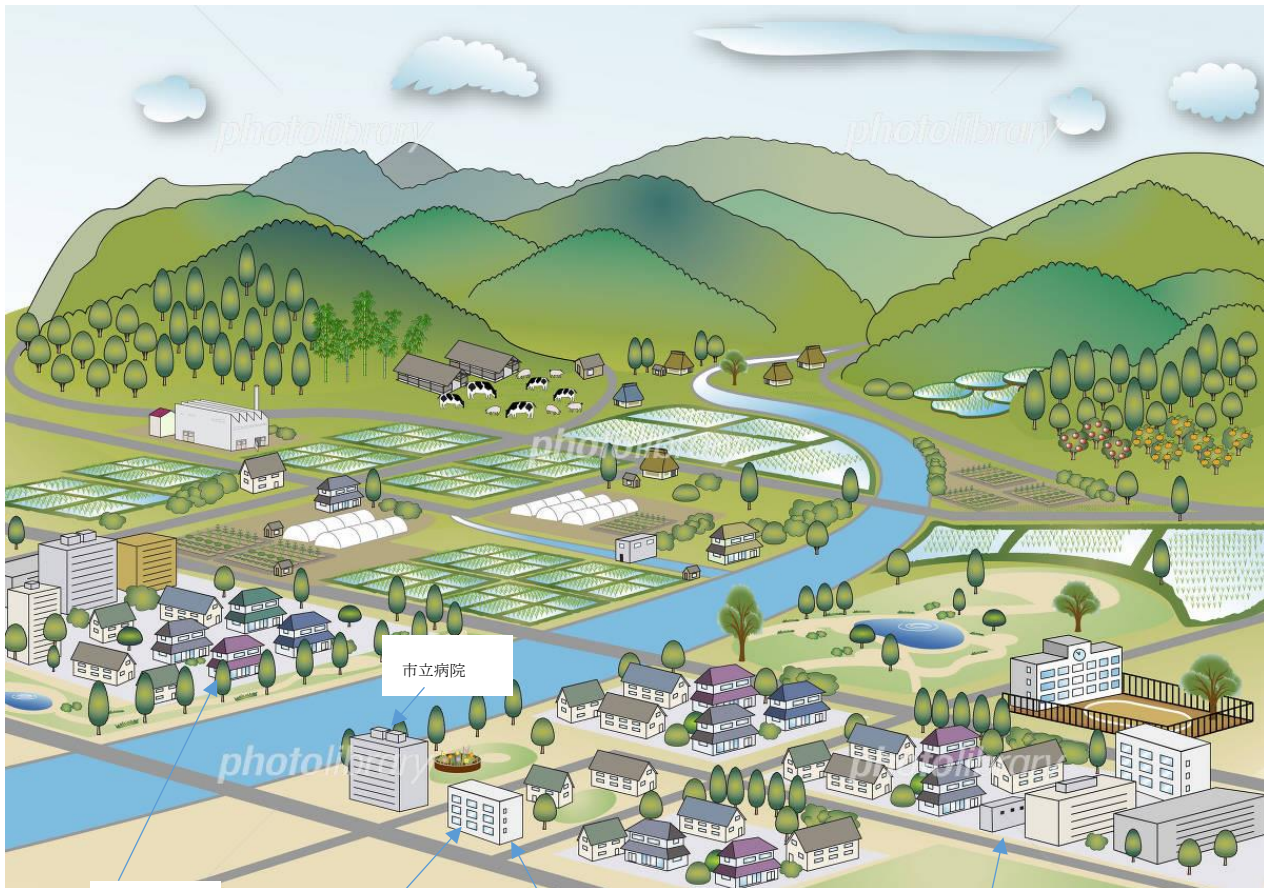


1

7	主訴	相談者	初回：妻
		相談内容	本人の病状が進行しているのか呼吸困難もあり、在宅酸素も開始した。
		家族	子どもは独立し、遠方に居住していて頼ることができない
8	健康状態	病名	① COPD ② 高血圧症
		主治医	① 近所の内科医師 A
9	A D L	麻痺等：なし 寝返り：行うことができるが息苦しく時々覚醒することしばしば 座位保持：座位を保つことができる 立位：可能だが起立時のふらつきがある 移動：室内は自ら移動可能。酸素吸入をしているため、範囲に限られる 更衣：妻が介助することが多くなった 入浴：自分で好きな時間に入るが、入浴後の呼吸困難が出現している 食事：食欲はあるが呼吸が苦しいため、少量になった 排泄：尿意はあり自らトイレ利用。便意があるが水分摂取が少ないせいか、最近では便秘がある	
10	IADL	調理・掃除：70 歳くらいまではこまめに掃除など行った 買い物：近所のスーパーに出かけタバコを購入している様子 金銭管理：自ら行う 服薬管理：昼間午睡をするため、生活リズムが崩れているため、服用を失念している 電話利用：町内会の電話と子供から時々電話があり短い会話をしている	
11	コミュニケーション能力	妻と会話も少なくなった。在宅酸素を利用するようになり、ますます外出や近所付き合いも減った	
12	社会とのつながり	市営住宅のため、近所とは旧知の仲。近所の主婦が時々縁側でお茶飲み会をしている	
13	排尿・排便	あり	
14	褥瘡・皮膚	褥瘡なし	
15	口腔清掃	朝は食後の歯磨きをしていたが、最近すぐ寝てしまう	
16	特別な状況	病状の急激な変化への備え	
17	周辺資源	図 2	



自宅

訪問看護 ST

老健・ケアマネ事務所

ヘルパーST

デイサービス